

妊娠中の検診について

妊娠おめでとうございます。これから子宮の中で赤ちゃんが育ち、来るべき分娩の日を迎えられるまで、SACRAレディースクリニックでは、慎重に妊婦検診をすすめていきたいと思ひます。検診は、以下のようなスケジュールで行ひます。もし不明な点があれば、ご遠慮なくスタッフにご質問下さい。

1) 妊娠初期



- ・初診時に子宮頸がん検診を行います
- ・胎児心拍が確認(妊娠6週頃)できたら、母子手帳を取得していただきます
- ・妊娠8~10週頃に分娩予定日を決定して血液検査(初期検査)を行います(ABO Rh血液型、不規則抗体、貧血、血糖値、B型肝炎、C型肝炎、ATL:成人T細胞白血病、梅毒、風疹、トキソプラズマ、HIV:エイズ)
- ・妊娠前から妊娠初期は特に、葉酸(緑黄色野菜)の摂取を心掛けましょう

- ・初期検査の結果がでるまでの検診は1~2週間ごと、その後は3~4週間ごとです
- ・診察の前に体重、血圧、尿タンパク、むくみをチェックします
- ・内診の際に、経膈超音波検査で胎児の成長を観察します
- ・内診時に膈洗浄を行います、これは膈の炎症が子宮内に及んで流産・早産を引き起こすのを防ぐためです
- ・妊娠14~16週頃にお腹の上から4D超音波検査を行います(この際に超音波画像を録画するビデオテープをプレゼントします)

2) 妊娠中期



- ・検診は4週間ごとです
- ・毎回お腹の上から超音波検査を行い、USBに録画します(最初にお渡ししたUSBを忘れず、すぐに録画できる状態でお持ちください)
- ・妊娠18週頃に血液検査(貧血)を行います
- ・妊娠20-24週頃にカラードップラーと4Dによる詳細な超音波検査を行います
- ・つわりもおさまり比較的安定した時期ですので、散歩などで体を動かしましょう

- ・内診時に経膈超音波検査を行い、子宮頸管の長さを計測して早産予防に役立てます
- ・妊娠26週以後の検診は、2週間ごとになります

3) 妊娠末期



- ・骨盤位(さかご)の場合はさかご体操をしていただきます
- ・検診間隔は2週間ごとです(骨盤位の場合は1週間ごと)
- ・妊娠28週頃に血液検査(貧血)を行います
- ・妊娠30週頃にカラードップラーと4Dによる詳細な超音波検査を行います
- ・妊娠34週頃に膈分泌物の培養検査を行います(特にB群溶連菌:GBSの有無をチェックします)

- ・妊娠36週以後の検診は、1週間ごとになります
- ・37週以後の検診時は、毎回胎児心拍モニタリング(NST)を行います
- ・37週にはいったら、早く陣痛が来るようによく動いて下さい
- ・妊娠36週頃に血液検査(貧血)を行い、パースプラン・入院誓約書を提出いただけます。また「入院から分娩までの流れ」についてのご案内をお配りします
- ・初産の方はレントゲンで骨盤計測を行います(榎原整形外科)
- ・予定日を越えたら週に2~3回の検診となります。NSTと超音波で赤ちゃんの予備力を評価しながら、慎重に管理します
- ・予定日を越えるようなら胎動カウントを始めましょう(10回の胎動を感じるのに2時間までなら大丈夫とされていますが、念のため20分を越えるようなら、しばらくしてからもう一度やりなおし、それでも越えるようならご連絡下さい)

